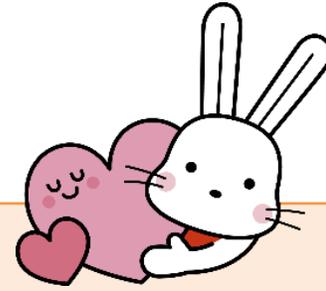


各団体等の取組等について

- ・特定非営利活動法人ふくしまバリアフリースターセンター
- ・社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会
- ・特定非営利活動法人仙台バリアフリースターセンター
- ・仙台駅東まちづくり協議会

特定非営利活動法人 ふくしまバリアフリーツアーセンターの取組

ふくしまバリアフリーツアーセンターの取組



①心のバリアフリーの推進

■啓発冊子を作成

- ・観光事業者向け
- ・小学生向け



■心のバリアフリー出前講座

- ・バリアフリー推進パートナーミーティング
- ・福島市民生児童委員協議会 障がい部会役員研修会
- ・女性教育指導員
- ・清水方部民生児童委員・地域包括支援センター・市職員

■観光庁「観光施設における心のバリアフリー認定」に向けた研修

- ・山水荘・YUMORI ONSEN HOSTEL

■観光庁「観光施設における心のバリアフリー認定」

- ・(一社)福島市観光コンベンション協会
- 福島市観光案内所(福島県内第1号)



ふくしまバリアフリーツアーセンターの取組

②Web版「福島市バリアフリーマップ」作成

- ・バリアフリー設備を簡単検索
- ・ピクトグラムと写真で表示
- ・Googleマップで経路案内



ふくしまバリアフリーツアーセンターの取組

③共生社会ホストタウンサミット in 福島

2021年9月11日オンライン開催

共生社会ホストタウン等による事例発表
(秋田県大館市、群馬県渋川市、福島市)

福島市の事例発表として登壇



事例発表者
ふくしまバリアフリーツアーセンター 佐藤由香利
福島学院大学福祉心理学科4年 若松あゆみさん

④「Japan Travel Awards」 グランプリ受賞

「観光から多様な社会をつくる」を理念に
誕生

- ・「グランプリ」
- ・「アクセシブル部門賞」
- ・「メディア賞」

【第1回】

応募数:全国30都府県から76件

→書類審査ファイナリスト:28件



外国人審査員12名による
グランプリ審査では、グローバルな視点で、今世界
で求められる「多様性」を最も実現していると評価
を受け、**満場一致**で決定

合理的配慮事例の紹介について

- ・社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会
- ・特定非営利活動法人仙台バリアフリーツアーセンター

第4回移動等円滑化評価会議東北分科会 提出資料

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会副会長 伊藤清市
特定非営利活動法人仙台バリアフリースペースセンター理事 及川智

宮城県松島町丸文松島汽船株式会社様の合理的配慮事例をご紹介します。

- ①船舶の規格の変化はあるが、最新の船ではないのでハード面を変える事は難しく、現状で出来る対応をしている。
- ②船舶の乗降口の段差の高さに合わせたスロープを準備する。
- ③障害をお持ちの方を見かけた際には駆け寄り、車椅子を持ち上げたりする。
- ④事前の下見に来ていただく事も多く、実際に見ていただきながら説明をしている。
- ⑤動きが多い方がいる事が分かれば、フロアを貸し切りにしたり、一般の方との利用を分ける等その都度状況に合わせた対応ができるよう心掛けている。
- ⑥また、トイレの説明等も行い、特に車椅子の方については、船のトイレは狭い事から乗船前後にレストハウス内の車椅子にも対応したトイレのご利用の案内をする。
- ⑦できる範囲での対応を事前に伝えている。

丸文汽船株式会社営業課長 村田様より

以上のように、個人から団体までその規模に応じて適宜対応していただけます。実際遠足や修学旅行での利用も多いようで、上記のように貸し切りにも対応されるとのことでした。

宮城県有数の観光地である日本三景・松島を多くの人に楽しんでいただきたいという思いが伝わってきます。こうしたやり取りや対応が多くの方でごく自然になされることで移動の円滑化が進んでいくものと思います。

※次ページ参考写真添付

乗船から下船まで



レストハウス



発券



レストハウス内トイレ



貸出用車いす



桟橋へ



あおば全景



乗船



乗船2



船内



船内2



船内3



船内4



船内5



下船

移動等円滑化に関する取組紹介について

・仙台駅東まちづくり協議会

仙台駅東地区における賑わい・モビリティ・物流が共存する道路空間の社会実験

仙台駅東口から楽天スタジアム等へつながる宮城野通において、広幅員の道路空間をフル活用し、「賑わい・モビリティ・物流」の複数種類のモビリティが同時に混在したときの走行安全性や利便性を検証(令和3年度～令和4年度) ※国土交通省道路局の社会実験メニューを活用

事業概要

■対象エリア



地域の課題
 ◎日常的な賑わいの不足
 仙台駅西口と比べて、沿道店舗が少ない
 ◎施設間のつながりの不足
 仙台駅東口～楽天球場、榴岡公園などの回遊性が弱い

■仙台駅東地区社会実験ワーキンググループ（R3.9設立）

- 【官】仙台市、東北地方整備局
- 【民】仙台駅東まちづくり協議会
 (松栄不動産(株)、東北福祉大学、(株)ヨドバシホールディングス、協議会事務局等)
- 【協力事業者】
 (株)Luup、(株)ドコモバイクシェア、ニューラルポケット(株)



過年度のまちづくり協議会の取組

～R1 勉強会を重ね、エリアマネジメント活動を推進する協議会を設立。
 まちづくり計画を作成し、市長に提出

R2 沿道の飲食店不足の解消と、キッチンカーの出店場所を提供するため、宮城野通にキッチンカーを出店する「ユア・キッチン」を実施。
 歩道上の休憩施設不足を解消するため、楽天スタジアムで使用していたベンチを宮城野通に設置。
 榴岡公園周辺の渋滞緩和のため、未利用の公園予定地を活用し、期間限定駐車場を運営。



宮城野通及び公開空地を活用した社会実験（ユアキッチン）

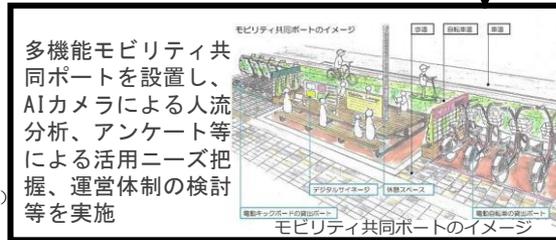


宮城野通にベンチを設置（休憩施設の設置）

社会実験の概要



仙台駅東まちづくり協議会 (株)LUUP (株)ドコモバイクシェア 東北福祉大学、ユニカミナルタ タイムモビリティ(株) (株)SPACER



多機能モビリティ共同ポートを設置し、AIカメラによる人流分析、アンケート等による活用ニーズ把握、運営体制の検討等を実施



設置風景 (R4.5.26)

スケジュール

■ R3年度

R3.9月
ワーキンググループ立上げ

R3.11月
社会実験・調査開始
(ポート・バイク設置からスタート)

■ R4年度

R4.5月～
全社会実験メニュー開始
(アンケート調査やカメラ分析等を実施)

R5.2月
国へ最終報告

■ 将来イメージ

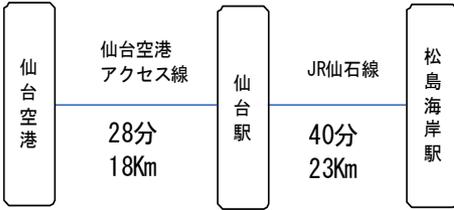
賑わいや回遊性の向上と、協議会を主体とした持続的な運用



仙台駅東まちづくり計画書より イメージ画

コンパクトモビリティの移動手段としての走行安全性の確保と利活用 (観光・移動のツール)

公共交通機関での移動、観光地での回遊の利便性向上



シェアリングサービス

空港、駅、観光地、ショッピングセンター等
屋内外での普及

「社会的受容性の向上」

「走行安全性」の検証

歩行者や多様なモビリティの輻輳等の状況の検証・分析

「利便性向上」の検証

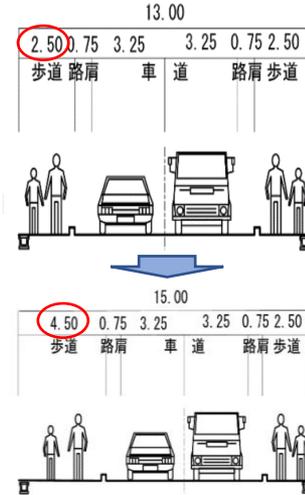
効果的・機能的なモビリティのポート設置システムの検証

仙石線「松島海岸駅」新駅舎イメージ



バリアフリー機能や観光案内機能も兼ね備えた駅として、使用開始

松島観光エリア



観光資源

- ・自然資源
- ・歴史、文化資源
- ・人工的資源

松島町バリアフリー基本構想 2018/03策定

住民（高齢者・障害者等）に加え、**観光客を対象とした移動等円滑化の促進**

ツーリズム（観光）における距離の定義

- ①実距離
- ②時間距離
- ③経済距離
- ④意識距離
(時間がかかっても楽しいときは距離を感じ)

観光客

・観光行動
(周遊・滞留・消費・満足感)

観光産業

・観光施設
・サービスの質と量
・土地利用

観光サービスの需給